

令和元年度第5回袖ヶ浦市社会教育委員会議

1 開催日時 令和2年2月7日 午後3時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

3 出席委員

委員	嶋田 道雄	委員	稲垣 昭彦
委員	松井 恭子	委員	石井 ゆみ子
委員	二宮 義文	委員	佐々木 眞由美
委員	田中 雪夫	委員	小泉 康
委員	川瀬 雅雄	委員	中山 正紀
委員	木村 育子	委員	徳永 啓子
委員	在原 潤	委員	西田 隆司
委員	高石 昌行		

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	体育振興課副課長	緒形 卓史
参事(兼生涯学習課長)	小阪 潤一郎	生涯学習課副課長	稲葉 理恵
市民会館館長	濱崎 雅仁	生涯学習課副主幹	小川 修也
郷土博物館館長	井口 崇	生涯学習課主任主事	宮澤 彩花
郷土博物館副館長	西原 崇浩	生涯学習課主事	高橋 はな
長浦おかのうえ図書館館長	藤尾 善之	生涯学習課社会教育班長	浦邊 宜文

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 令和2年度社会教育委員年間活動計画(案)について
- (2) 各事業の実施結果について

7 報 告

- (1) 社会教育功劳感謝状受賞者について
- (2) 袖ヶ浦市生涯学習奨励賞受賞者について
- (3) 令和2年度袖ヶ浦市社会教育関係団体補助金について

(4) 今後の各種事業の実施予定について

8 議 事

議題(1) 令和2年度社会教育委員年間活動計画(案)について

【資料の1ページを説明】・・・事務局浦邊

小泉委員：勉強会の実施には賛成だが、年にどれくらい行うのか。また、どのようにやっていくのか。この間、社会教育についての意見を提出したが、それに関しての話し合いなども実施してはどうかと思う。

二宮委員長：以前に実施したことがあったが、それは会議の際に実施した。

小阪参事：小泉委員の意見なども参考にしながら、皆さんの負担にならないような形で、ためになるような形で実施できるよう、考えていきたい。現段階で具体的な内容は示せないが、今後、考えていく。

稲垣委員：袖ヶ浦高校の演劇部にお願いして20分から25分程度の人権についての演劇を中学校対象に実施している。ビデオに残しているので研修の題材にしてもよいのではないかと思う。

二宮委員長：まずは実施をしてみて、その中でよりよい方向へ変えていければと思う。負担にならないような形で実施していければと思う。

小泉委員：定年年齢が延びて、社会教育をやろうという人が減り、様々なサークルなどが減少することが目の前にある中で、それをどうしていくのかを考えていくのが、社会教育委員としての大きな課題かなと感じている。そういったテーマで勉強会をやっていくのもひとつではないかと思う。

濱崎市民会館館長：(2)各種大会・研修会等で情報提供をさせていただきます。

11月19日、20日の2日間にわたり、船橋市を会場にいたしまして関東甲信越静公民館研究大会を開催します。そちらの案内を改めてさせていただきたいのでよろしく申し上げます。

佐々木副委員長：仕事の都合などがあると思うが、14時から会議を実施して、終了後に1時間程度の勉強会を実施してはどうか。

二宮委員長：そのようなことを踏まえた形で勉強会をとり入れていきたいのでご協力をお願いしたい。

議題(2) 各事業の実施結果について

①令和2年袖ヶ浦市成人式実施結果

【資料2ページから6ページを説明】・・・濱崎市民会館館長

- 二宮委員長：各地区の成人式に出席していただいてどのように感じたかを伺いたいと思います。また、2022年から成人年齢が18歳になることに伴いご意見があれば伺いたいと思います。
まずは昭和地区で出席した方から。
- 小泉委員：昭和地区は落ち着いた感じの成人式となって良かった。新成人の挨拶が非常にレベルの高いものであった。
- 稲垣委員：どこの会場でも落ち着いた雰囲気であったと思う。式典が終わって、それで終わりというのはもったいないと感じる。もうひとつ踏み込んだ形で、成人を祝うというだけではなくて、成人の自覚を持たせ、地域からお祝いされていると感じられる式を実施できたらよい。
- 川瀬委員：非常に平穩で良かったと思う。非常におとなしいと思うが、私としては少し物足りないような感じも受ける。成人式については20歳のままでよいと思う。
- 木村委員：年々厳肅になっていると感じる。子供たちはもちろんだが、家族にとっても最高の喜びの場となればよい。18歳成人になると服装が清美になると期待できる。18歳の成人式に賛成である。
- 鵜田委員：会場が広すぎると感じた。1階席に保護者、恩師を入れてもよいと思う。18歳では高校生が受験真っ盛りであるため、どれだけ参加するかが気になる。成人式は20歳でよいと考える。
- 佐々木副委員長：成人式と言いながら同窓会色が強くなっていると感じる。20歳のお祝いとして、地元で育った者、転入してきた者がフラットに参加できればよい。そのために市内の成人が一堂に会する形でもよいが会場の問題がある。20歳のお祝いを考える成人式にしたい。
- 二宮委員長：続いて長浦地区。お願いします。
- 在原委員：ここ数年、落ち着いて厳肅に式典が行われていると感じる。改造車に乗ってきた成人がいたが、話をすると礼儀正しい成人であった。一時期と比べるとだいぶ変わってきている様子を受けた。同窓会色が強くなっているが長浦地区と蔵波地区を分けて実施している関係で成人たちがゆっくり話している時間があまりとれない。ゆっくりと時間を過ごすための工夫が必要だと感じている。
- 石井委員：蔵波地区の写真撮影の際に人数が多いので危ないという意見があった。来年は人数が多いと聞いているので考えていかないといけない。

徳永委員：厳粛な中、式典が実施された。実行委員が協力者に感謝を述べるなど、成人の自覚を感じた。反省会で新成人の実行委員の皆さんからの「やってよかった」という言葉が印象に残った。

二宮委員長：続いて根形地区お願いします。

高石委員：新成人を中心として、それぞれが自立して携わっていた。一堂に会しての成人式もよいが、地区ごとの小さい単位での成人式もよい。どちらがとは言えない。

松井委員：成人式から始まった「ねこまる」が各地域に広まればよいと思う。「おめでとう」「お父さん、お母さんありがとう」だけでなく、市から成人に対する期待などの呼びかけがあってもよいと思う。

二宮委員長：最後に平川地区お願いします。

中山委員：中学校ごとに分散しての実施のため同窓会色が出てしまう。地元の成人の出身中学校が私立中学校への進学により、平川中学校だけではなくなっている。

西田委員：実行委員会に新成人の参加が少なく心配したが、それぞれが連絡をとりあっていたのか、当日は無事に粛々と進行ができ、問題はなかった。式典終了後にも長い時間にわたり駐車場で談笑していた。式の後に集えるような機会を作ってあげられればよいのかなと感じた。成人年齢を18歳とするならば、18歳で成人式を行うのが当然だと思う。

二宮委員長：18歳成人は、選挙権の話から始まったと思うが、鴫田委員の言ったとおり、受験などもあるのでしっかりと考えて対応してほしい。

②新春マラソン大会

【資料7ページを説明】・・・緒形体育振興課副課長

川瀬委員：一般女子を5kmにしたが、参加者が減ってしまった。個人的には、3kmにしても良いのではと考えている。天気もよく、怪我無く実施できてよかったと思う。

小泉委員：私も参加したが、年々レベルが上がっていると感じた。年代別で賞があると良いのではないかと思う。

③令和元年度第3回市民三学大学講座「前園真聖」

【資料8ページを説明】・・・事務局浦邊
(質疑等なし)

報告(1) 社会教育功労感謝状受賞者について

【資料9ページから11ページを説明】・・・小川副主幹

二宮委員長：今年は11名ですね。例年、10名～15名ぐらいですね。

報告（２）袖ヶ浦市生涯学習奨励賞受賞者について

【資料１ １ ページを説明】・・・高橋主事

二宮委員長：以前に対象になるにもかかわらず忘れていたということがあった。皆さんも目を光らしていただければと思う。

報告（３）令和２年度袖ヶ浦市社会教育関係団体補助金について

【資料１ ２ ページから １ ４ ページを説明】・・・宮澤主任主事

二宮委員長：来年度の第１回目の社会教育委員会議で審議をしていただくことになる。補助金について目的はあくまでも社会教育団体の活動支援であり、市が団体の活動の内容に干渉するものではないということを確認していただくことになる。台風の影響などで市の予算も厳しい状況という中で、来年度の補助金の予算の状況はいかがなのか。

小阪参事：例年並みで予算の要求をしている状況です。来年度第１回目の会議では、事業計画に対して補助金額が適正かを審議してもらうことを予定している。他の団体と比較して補助金額が多い、少ないというものではない。

田中副委員長：子ども会の事業で台風の影響により、かるた大会が中止となったが、景品は購入している。来年度の大会に持ち越して利用したい。

稲垣委員：財政状況が厳しい中で補助金の見直しなど、今後の見通しをわかる範囲で教えていただきたい。

小阪参事：社会教育関係団体の補助金に限らず、農業や商業など様々な補助金があります。厳しい財政状況の要因などにより、何年か毎に見直しを行ってまいりますので、来年度あたりに市全体の補助金の見直しがあるのではないかと考えています。社会教育関係団体の事務局長会議が今後あるのでその際に話をしようと考えています。

稲垣委員：それに合わせて公民館等の使用料の見直しは行う予定なのか。

濱崎市民会館館長：３年に１度の見直しをするようになっているが、昨年度は現状のままという形になっている。

小泉委員：財政難という言葉が良く出てくるが、これだけ住宅が増えてきているのに財政難なのか。

小阪参事：細かい資料は持ち合わせていないが、ピーク時に比べて税収が減っています。

川瀬委員：団体の活動は４月１日から始まる。情報などを早めに流してもらいたい。

報告（４）今後の各種事業の実施予定について

- ①令和元年度第4回市民三学大学講座「立木早絵」
【別添の資料により説明】・・・事務局浦邊
(意見等なし)
- ②令和元年度山野貝塚講演会～周辺地域の遺跡から山野貝塚の特徴を探る～
【別添の資料により説明】・・・稲葉副課長
(意見等なし)
- ③ウォーキングフェスタ2020 in 袖ヶ浦
【別添の資料により説明】・・・緒形体育振興課副課長
(意見等なし)
- ④第24回ふれあいフェスティバル
【別添の資料により説明】・・・事務局浦邊
(意見等なし)
- ⑤令和元年度出土遺物公開事業講演会「ECO生活事始め」
【別添の資料により説明】・・・西原郷土博物館副館長
(意見等なし)
- ⑥本・雑誌リユースデー
ユニセフ・シアター・シリーズ「風をつかまえた少年」
【別添の資料により説明】・・・藤尾長浦おかのうえ図書館館長
(意見等なし)
- ⑦第93回袖ヶ浦市音楽協会定期演奏会
【別添の資料により説明】・・・木村委員
(意見等なし)

午後5時閉会

令和元年度第5回

社会教育委員会議

日 時 令和2年2月7日（金）

午後3時～午後4時30分

場 所 袖ヶ浦市役所旧館3階大会議室

次 第

- 1 開会のことば
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 令和2年度社会教育委員年間活動計画（案）について
 - (2) 各事業の実施結果について
 - ・令和2年袖ヶ浦市成人式
 - ・新春マラソン大会
 - ・令和元年度第3回市民三学大学講座「前園真聖」
- 5 報 告
 - (1) 社会教育功労感謝状受賞者について
 - (2) 袖ヶ浦市生涯学習奨励賞受賞者について
 - (3) 令和2年度袖ヶ浦市社会教育関係団体補助金について
 - (4) 今後の各種事業の実施予定について
 - ・令和元年度第4回市民三学大学講座「立木早絵」
 - ・令和元年度山野貝塚講演会～周辺地域の遺跡から山野貝塚の特徴を探る～
 - ・ウォーキングフェスタ2020 in 袖ヶ浦
 - ・第24回ふれあいフェスティバル
- 6 その他
- 7 閉会のことば

令和元年度第5回

社会教育委員会議 資料

日 時 令和2年2月7日（金）
午後3時～午後4時30分
場 所 袖ヶ浦市役所旧館3階大会議室

目 次

次第4 議 題

- (1) 令和2年度社会教育委員年間活動計画(案)について・・・P 1
- (2) 各事業の実施結果について・・・P 2～P 8
 - ・令和2年袖ヶ浦市成人式
 - ・新春マラソン大会
 - ・令和元年度第3回市民三学大学講座

次第5 報 告

- (1) 社会教育功労感謝状受賞者について・・・P 9～P 10
- (2) 袖ヶ浦市生涯学習奨励賞受賞者について・・・P 11
- (3) 令和2年度袖ヶ浦市社会教育関係団体補助金について・・・P 12～P 14
- (4) 今後の各種事業の実施予定について・・・別添
 - ・令和元年度第4回市民三学大学講座
 - ・令和元年度山野貝塚講演会
 - ～周辺地域の遺跡から山野貝塚の特徴を探る～
 - ・ウォーキングフェスタ2020 in 袖ヶ浦
 - ・第24回ふれあいフェスティバル

4 議題（１）令和２年度社会教育委員の年間活動計画（案）について

（１）定例会

回	実施日	会議内容	会場
1	4月24日(金) 15:00～17:00	令和２年度社会教育関係団体の補助金について	未定
2	5月15日(金) 15:00～17:00	令和元年度社会教育（体育）事業の実施報告について 令和２年度袖ヶ浦市教育基本方針及び目標について	市役所旧館 3階大会議室
3	7月10日(金) 15:00～17:00	第36回袖ヶ浦市生涯学習推進大会について 第36回袖ヶ浦市生涯学習推進大会実行委員の選出について 令和３年袖ヶ浦市成人式実行委員の選出について	市役所旧館 3階大会議室
4	10月9日(金) 15:00～17:00	第36回袖ヶ浦市生涯学習推進大会について 令和２年度社会教育功労者感謝状選考基準について	市役所旧館 3階大会議室
5	12月11日(金) 15:00～17:00	令和２年度社会教育功労感謝状被贈呈候補者選考について	市役所旧館 3階大会議室
6	2月5日(金) 15:00～17:00	令和３年度社会教育委員年間活動計画（案）について	未定

（注）議会等の都合により日程等を変更する場合があります。

（２）各種大会・研修会等

回	実施日	会議等名称	参加	会場
1	5月 日（ ）	君津地方社会教育委員連絡協議会総会	4人	君津市
2	7月4日(土)	袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会	全員	袖ヶ浦市民会館
3	7月18日(土)	君津地方社会教育推進大会	全員	袖ヶ浦市民会館
4	10月 日（ ）	社会人権教育地区別研修会	数名	富津公民館
5	11月 日（ ）	千葉県社会教育振興大会	4人	千葉県総合教育センター
6	2月13日(土)	袖ヶ浦市生涯学習推進大会	全員	袖ヶ浦市市民会館
7		君津地方社会教育委員連絡協議会研修会		

（３）勉強会

社会教育委員会議の前後の時間を用いて勉強会を実施する。テーマを決めての意見交換や先進事例の研究など、社会教育委員活動に活かせる内容を考えながら実施する。

4 議題（2）各事業の実施結果について

令和2年袖ヶ浦市成人式実施結果

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ヶ浦市の成人式を開催した。市民会館・長浦公民館・根形公民館・平岡公民館の4会場に分かれて実施した結果は下記のとおりである。

1. 実施状況

昭和・長浦・根形・平川地区は1月12日（日）午前9時30分から受付、10時30分から式典。蔵波地区は午後0時45分から受付、午後1時30分から式典。式典終了後は、それぞれの会場で記念撮影やビデオレターなどの記念行事を実施し終了した。

2. 式典出席者

地 区	対 象 者			出 席 者			出席率 %	前 年 出席率%
	男	女	計	男	女	計		
昭和地区	127	116	243	84(6)	75(1)	159(7)	65.4	67.0
長浦地区	63	51	114	40(3)	31(5)	71(8)	62.3	76.1
蔵波地区	92	67	159	67(6)	51(3)	118(9)	74.2	72.7
根形地区	27	22	49	23(5)	21(1)	44(6)	89.8	83.6
平川地区	57	56	113	44(2)	48(5)	92(7)	81.4	79.4
計	366	312	678	258(22)	226(15)	484(37)	71.4	74.5

*対象者には、市外転出者を含む（カッコ内は市外転出者の出席数で内数）

5年間の推移

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
対象者数(人)	627	684	640	654	678
出席者数(人)	485	533	498	487	484
出席率(%)	77.4	77.9	77.8	74.5	71.4

3. 記念行事

各館で行われた記念行事の内容と参加人数は次のとおりである。

【昭和地区】

会 場 市民会館
内 容 立食パーティー（500円会費）・ビデオレター
記念撮影（1,000円）
参加人数 130人（恩師8人を含む）

【長浦地区】

会 場 長浦公民館
内 容 恩師からのお祝いの言葉・記念撮影（1,000円）
参加人数 71人

【蔵波地区】

会 場 長浦公民館
 内 容 恩師からのお祝いの言葉、ビデオレター
 記念撮影（１，０００円）
 参加人数 １１８人

【根形地区】

会 場 根形公民館
 内 容 祝賀パーティー（５００円会費）
 おもいで給食試食（米粉パン、揚げパン）
 記念撮影（１，０００円）
 中学校へCDラジカセ寄贈
 参加人数 １００人（恩師１６人、家族４０人を含む）

【平川地区】

会 場 平岡公民館
 内 容 ビデオレター
 新成人の主張
 記念撮影（１，０００円）
 参加人数 ９２人

4. その他の参加者

地 区	来 賓 (実行委員は除く)	実行委員	職 員 (実行委員は除く)	そ の 他	計
昭和地区	１５	７	４	１１	３７
長浦地区	５	７	２	２２	３６
蔵波地区	７	６	２	２３	３８
根形地区	７	８	２	１４	３１
平川地区	１０	１３	３	５	３１
計	４４	４１	１３	７５	１７３

※ 来賓には案内者（主催者）を含む。

※ 実行委員には、新成人は含まない。

※ その他は、社会教育推進員、青少年相談員などの会場設営協力者

5. 記念品

館長会議や成人式担当者会議での検討の結果、ガウライラスト入りフォトフレームに決定し、当日に配付を行った。

6. まとめ（目標に対する結果）

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標に対する結果は下記のとおりである。

【昭和地区】

受付は、実行委員以外の新成人によるロビーでの案内等を行い、スムーズに滞りなく行うことができた。

式典は、新成人による進行のもと厳粛な雰囲気の中、実施できた。新成人代表挨拶では、成人になった喜びとともに家族、お世話になった先生、地域の方々への感謝の気持ち、そして、社会の一員としての自覚と責任を持ち、今後の人生を送る決意が感じられた。

記念行事は、中ホールにおいて新成人の企画、運営のもと小学校、中学校時代の恩師を招いた立食パーティーとビデオレターの上映を行い、和やかな雰囲気の中、当時を懐かしむ会話が飛び交った。スムーズに実施することができた。

【長浦地区】

曇天の中集まってくる新成人は晴れやかな表情で、開式直前までは久しぶりの再会を喜ぶ姿でにぎやかな様相であった。開式以後は厳かな空気に包まれ、成人としての自覚がうかがえた。

記念行事は中学当時の恩師にサプライズ登場していただき、緞帳が上がると新成人・保護者から大きな歓声上がり、これまで一生懸命準備を行ってきた実行委員の満面の笑みが印象的だった。

恩師5名からそれぞれスピーチをいただき、最後に新成人の当時の校長先生であった石橋長浦公民館長伴奏で思い出の曲である「栄光の架け橋」を新成人・保護者を含め全員で歌いとても盛り上がった。

想定された午後の部との入れ替えも、大きな混乱もなくスムーズに午後の準備に入ることができた。

【蔵波地区】

開式直前までは、賑やかな様相であったが開式以後は、会場全体が儀式にふさわしい雰囲気となり、成人としての自覚がうかがえた。

式直前には実行委員全員で来賓控室に来室し、「本日はよろしくお願ひします」と挨拶した。主体的・自主的な姿に来賓一同大変感心していた。成人代表挨拶の際の大きくしっかりとした「はいっ」の返事で式典全体がより引き締るのを感じた。旧友の遺影を実行委員が抱えながら式に臨んでいた姿に当時から紡がれてきた深い絆を感じた。

記念行事では、中学校3年の際の恩師6名よりスピーチがあり、温かな雰囲気の中で記念行事が進行した。

スピーチ後には当日来られなかった恩師からのビデオレターを上映し、当時を懐かしむ声や笑い声があがった。

式典前には式の段取りを何度も確認している姿があり、その姿に成人としての自覚を感

じた。

二つの地区の成人式を挙げるにあたって、その準備、当日運営、後片付けには社会教育推進員、青少年相談員など多くの地域の方々のご支援ご協力がなければ、このような充実した立派な式ができないことを大いに感じた。

【根形地区】

記念式典は、とても厳粛であった。司会や国歌斉唱の指揮・伴奏、主催者挨拶などの話を聞く新成人の姿は、立派であった。また、新成人代表挨拶は、代表の思いが伝わるものであった。会場で見守った家族や恩師は、その成長を強く感じていたように思う。

式典後、新成人自らで企画した祝賀パーティーが開催された。パーティーには、恩師のみならず家族も参加するなど、地域のあたたかさ、“根形らしさ”を感じさせるものであった。パーティー会場に、亡き恩師のコーナーも設けられ、新成人の恩師への想いも感じさせられた。パーティーでは、中学校時代のスライドショー、旧友たちとの会話、おもいでの給食試食（米粉パン、揚げパン）等が行われ、新成人にとってかけがえのないものとなった。また、ねこまるを企画・運営するN.O.Cが、活動PRを行い、これをきっかけに、先輩後輩といった縦のつながりが築かれ、活動の活性化につながればと思う。

祝賀パーティー後、第2回実行委員会議を開催した。新成人からは、「友人らと有意義な時間が過ごせた。」、「実行委員の方々の支援に感謝している。」、「家族から成人式が良かった、といった声が聞け、それが何よりもうれしかった。」といった言葉があった。また、新成人以外の実行委員からは、「根形地区を忘れないで欲しい。また、地域のために活動して欲しい。」、「支え合いの気持ちを大事にして欲しい。」といったメッセージが伝えられ、今年度も厳粛で、充実した内容の成人式であった。

【平川地区】

記念式典では、実行委員として進行や国歌斉唱の指揮・伴奏などを担当した新成人がそれぞれの役割を立派に果たし、厳粛な雰囲気の中で進めることができた。

記念行事はビデオレターと新成人の主張を行った。ビデオレターでは小中学校の写真、小中学校の恩師からのメッセージを上映した。恩師の映像が切り替わるたびに新成人から歓声が上がった。新成人の主張では代表者6名が登壇、これからの抱負を発表し、それぞれが目標に向かって頑張っている様子がうかがえた。

家族席も80席用意した9割が埋まり来場した関係者にも好評をいただくことができた。

多くの保護者、地域の方々、そして恩師に見守られながら、厳かな式典と若者らしい希望溢れる記念行事ができた。

また、終了後に行った第2回実行委員会議（反省会）では新成人から「皆さんからサポートをいただいたお陰で無事成人式を終えることができありがとうございました」という感謝の気持ちを伝えていただき、立派に成人していることを感じる事ができた。

袖ヶ浦市新春マラソン大会について

主催：袖ヶ浦市体育協会

1. 日時 令和2年1月11日(土)
 開会式 9:00~9:15
 準備運動 9:15~9:20
 競技開始 9:25~12:00(競技終了)

種 目	参加者数(名)
(1)小学生1~2年 男子 1km	67
(2)小学生1~2年 女子 1km	45
(3)小学生3~4年 男子 2km	43
(4)小学生3~4年 女子 2km	35
(5)小学生5~6年 男子 2km	32
(6)小学生5~6年 女子 2km	16
(7)中学生 男子 3km	88
(8)中学生 女子 3km	48
(9)一般 男子 5km	43
(10)一般 女子 5km	7
(11)一般 男子 10km	53
(12)一般 女子 10km	14
{計 12種目}	491

1月11日(土)に「袖ヶ浦市新春マラソン大会」が開催され、小学生1~2年生の部から一般の部にわたる全12種目に総勢491名のランナーが参加しました。

走り終えたランナーからは、「前回の記録を更新できて良かった」、「気持ちよく走りきることができた」という言葉が聞こえました。今年1年の良いスタートが切れたのではないかと思います。



2020新春マラソン	491名
2019新春マラソン (小雨)	481名
第27回	509名
第26回	431名
第25回	501名
第24回	497名
第23回	502名
第22回	563名
第21回	461名
第20回	488名
第19回	442名
第18回	477名
第17回	488名
第16回	422名
第15回	437名
第14回	503名
第13回	548名
第12回 (小雨)	386名
第11回	451名
第10回	458名
第9回	396名
第8回	414名
第7回	388名
第6回	327名

事業実施報告書 「第38期 第3回市民三学大学講座」

- 1 日時 令和元年12月14日(土) 10:00~14:40
(内訳 サッカー教室: 10:00~12:00 三学大学講座: 13:30~14:40)
- 2 場所 サッカー教室: 陸上競技場
三学大学講座: 袖ヶ浦市民会館大ホール
- 3 講師 前園真聖(元サッカー日本代表)
- 4 演題 サッカー教室: 『レッツトライ! 「前園サッカー教室」』
三学大学講座: 「フォー・ザ・ミラクル~チャレンジすることの素晴らしさ~」
- 5 参加者 サッカー教室: 80名(他、見学者は多数)
三学大学講座: 400名
- 7 講座評価 【良かった、まあ良かった】という回答率 100%
(目標値95%以上)
(回答なし除く割合)

8 その他

サッカー教室

- ・天候にも恵まれ、参加した子ども達も見学に来た保護者等も楽しんでた。
- ・準備から運営にいたるまで、サッカー協会と体育振興課の協力により無事にサッカー教室を実施できた。
- ・教室後、講師の参加者対応で時間が割かれたが、事前に写真は許可、サインは時間を取ることから不許可と周知してあり、トラブルは生じなかった。

三学大学講座

- ・多くの子どもが参加したことから、内容が子ども向けとなり残念という意見もあったが、講師が参加者と触れ合うなど普段とは違った雰囲気の中三学大学となり、参加者の満足度は高かった。
- ・サッカー教室の参加者を三学大学に招いたことから、10代やそれ以下の参加も多く、通常は参加の少ない若年層に事業を認知させることが出来た。
- ・事前の打ち合わせとは違った講師の動きが多かったが、司会の機転の利いた対応により、トークショーを無事に実施出来た。

5 報告（１）社会教育功労感謝状受賞者について

1 目的

袖ヶ浦市生涯学習推進大会を記念して、社会教育・社会体育に貢献した個人又は団体に対して教育長名での感謝状を贈り、その労をねぎらうと共に、今後の市生涯学習の推進を図る。

2 贈呈の基準

次の各項のいずれかに該当するもので、市内の生涯学習推進に熱意をもってあたり、その実績が顕著で他の模範となる個人及び団体を対象とする。

ただし、過去において、社会教育・社会体育活動関係で国・県・君津地方・本市等で表彰を受けた個人及び団体は対象外とする。

なお、団体に公民館登録サークルは含めないものとする。

- (1) 市社会教育機関、社教連協加盟団体の活動者で、役員として10年以上の活動期間を持つもの
- (2) 市社会教育機関、社教連協加盟の団体で、10年以上の活動期間を持つもの
- (3) 前各項に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めたもの

3 被贈呈者について

個人 11名

4 被贈呈者数の推移

贈呈者数	H26	H27	H28	H29	H30	R1
個人	7	11	12	14	14	11
団体	4	2	1	0	0	0
計	11	13	13	14	14	11

袖ヶ浦市社会教育功労感謝状の贈呈要項

1. 目的

袖ヶ浦市生涯学習推進大会を記念して、社会教育・社会体育に貢献した個人又は団体に対して教育長名での感謝状を贈り、その労をねぎらうと共に、今後の市生涯学習の推進を図る。

2. 贈呈の基準

次の各項のいずれかに該当するもので、市内の生涯学習推進に熱意をもってあたり、その実績が顕著で他の模範となる個人及び団体を対象とする。

ただし、過去において、社会教育・社会体育活動関係で国・県・君津地方・本市等で表彰を受けた個人及び団体は対象外とする。

なお、団体に公民館登録サークルは含めないものとする。

- (1) 市社会教育機関、社教連協加盟団体の活動者で、役員として10年以上の活動期間を持つもの
- (2) 市社会教育機関、社教連協加盟の団体で、10年以上の活動期間を持つもの
- (3) 前各項に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めたもの

3. 推薦の手続き

市社会教育機関及び社教連協加盟団体の長は、贈呈候補者について次の各項に留意し、袖ヶ浦市教育委員会教育長に推薦するものとする。

- (1) 各団体よりの推薦は原則として1名又は1団体までとする。
- (2) 被推薦者及び被推薦団体の活動期間の積算は、当該年度の1月末までで行うものとする。
- (3) 個人において、2つ以上の団体で役員として活動し、その合計年数が10年以上の場合は、重複する活動年数は加算しないこととする。

4. 被贈呈者の決定

推薦を受け、学校教育及び社会教育の関係者で構成される選考委員会の審議を経て、教育長が決定するものとする。

5. 贈呈時期

袖ヶ浦市生涯学習推進大会の開会行事の席で行う。

5 報告（2）袖ヶ浦市生涯学習奨励賞受賞者について

1 表彰基準

袖ヶ浦市内在住者（令和元年12月31日時点で袖ヶ浦市内に住所を有すること）及び市内の団体で、平成31年1月1日から令和元年12月31日の間に下記の成績を収めたもの。

（1）生涯学習特別奨励賞

全国規模の大会において、その成績が特に顕著であり（3位以上）他の模範となるもの。

（2）生涯学習奨励賞

県規模の大会において、その成績が顕著であり（3位以上）他の模範となるもの。

2 被表彰者について

（1）生涯学習特別奨励賞

団体 3団体（文化1団体・スポーツ2団体）

個人 11名（文化6名・スポーツ5名）

（2）生涯学習奨励賞

個人 30名（文化13名・スポーツ17名）

3 表彰者数の推移

受賞者数推移		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
特別奨励賞	団体	1	1	2	1	1	2	3
	個人	10	12	10	15	6	10	11
奨励賞	団体	7	5	10	9	4	6	0
	個人	41	35	24	34	30	35	30
全体数		59	53	46	59	41	53	44

5 報告（3）令和2年度袖ヶ浦市社会教育関係団体補助金について

社会教育法第13条において、地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合は、あらかじめ社会教育委員の意見を聴いて行わなければならないとされています。

これは、本来、自由で自主的な活動を主とする社会教育関係団体に対し行政が補助金を支出することによって、団体に対して不当な統制的支配や事業の干渉が加えられることがないように、社会教育委員が行政をチェックする役割を担っているということです。

このため、社会教育関係団体に対する補助金について、補助の目的や補助対象事業等明らかにし、補助の目的はあくまで団体による社会教育活動の支援にあり、団体を支配したり内容に干渉したりするものではないことを、社会教育委員に確認していただくことが必要となります。

2 根拠法令

社会教育法

（国及び地方公共団体との関係）

第十二条 国及び地方公共団体は、社会教育関係団体に対し、いかなる方法によつても、不当に統制的支配を及ぼし、又はその事業に干渉を加えてはならない。

（審議会等への諮問）

第十三条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和二十三年法律第百二十号）第八条に規定する機関をいう。第五十一条第三項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

袖ヶ浦市教育振興事業助成金交付要綱

（趣旨）

第1条 市長は、学校教育、社会教育及び社会体育関係事業者（以下「事業者等」という。）が教育の振興を図る目的で行う教育振興事業（以下「事業」という。）に要する経費に対し、予算の範囲内において、袖ヶ浦市補助金等交付規則（昭和49年規則第11号。以下「規則」という。）及びこの要綱に基づき、当該事業者等に助成金を交付する。

（対象事業、経費及び助成額）

第2条 助成の対象となる事業、経費及び助成額は、別表のとおりとする。ただし、別表に掲げるもののほか市長が特別に必要があると認めるときは、助成の対象とする。

別表（第2条関係）

事業名	助成の目的	助成事業者	助成対象の条件	助成対象経費、助成額
(9) 袖ヶ浦市社会教育関係団体連絡協議会活動費助成金	青少年及び成人の社会教育団体活動を通じ、地域社会における生活文化を創造・発展させるとともに自己教育の学習機会を充実することに助成する。	袖ヶ浦市社会教育関係団体連絡協議会	① 会員が市内在住及び在勤者であること。 ② 社会教育事業を主たる活動とすること。 ③ 学習活動及び教育活動が継続的に行われること。	人件費、報償費、旅費、消耗品費、食糧費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金 (助成額) 予算の範囲内の額

袖ヶ浦市補助金等交付規則

(目的)

第1条 この規則は、他に特別の定めのあるもののほか、補助金等の交付の申請及び決定等に関する事項その他補助金等にかかわる予算の執行について基本的事項を規定することにより、これらにかかわる予算の執行の適正化を図ることを目的とする。

(補則)

第20条 この規則の施行について必要な事項は、別に定める。

袖ヶ浦市補助金等に関する事務取扱規程

(趣旨)

第1条 この規程は、袖ヶ浦市補助金等交付規則（昭和49年規則第11号）第20条の規定に基づき、補助金等の交付に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 団体補助金 特定の者又は不特定の者を構成員として特定の目的をもって自主的に運営されている団体の活動全般を奨励する目的で支給される補助金をいう。
- (2) 事業補助金 個人又は団体の実施する特定の事務又は事業に対して支給される補助金をいう。

(基準)

第4条 補助事業に係る補助基準は別表に定めるとおりとする。ただし、公益その他の必要により財政担当部長が必要と認めた場合は、この限りでない。

別表（第4条関係）

1 団体補助金

団体種別	団体の内容	補助対象事業費	補助基準率
公的団体	市が行うべき事務又は事業を実施している団体	人件費、事務費、事業費（他で補助されている事業、会費以外の歳入を伴っている事業及び補助金等の名目で再還付されているものを除く。）及び負担金とする	事業費の100%以内（県、その他の公的団体から補助金が支給されている場合にあっては、その金額を控除した額とする。以下同じ。）とする。
私的要素のある団体で行政との関連の強い団体等	市が行うべき事務又は事業を主たる事務として実施している団体、非常勤特別職及びこれに準ずる職員の活動調整の団体であって、行政との関連の強い団体又は市行政と密接に関係する地域社会奉仕活動を主たる事務として実施している団体		事業費の10分の5以内とする。ただし、行政事務の一端を分担する団体及び公共性の強い団体にあつては10分の9以内とする。
私的要素のある団体で直接又は間接的に行政効果がある団体等	団体構成員の福利厚生、親睦、スポーツ、生産性の向上等個人的な利益を主たる目的とし、その活動により直接又は間接的に行政効果がある団体並びに非常勤特別職及びこれに準ずる職員の活動調整団体であつて親睦及び福利厚生活動が主体の団体		事業費の10分の3以内とする。ただし、地域社会奉仕活動等行政との関連の強い団体、援助奨励的団体及び政策的団体は10分の5以内とする。
私的団体	団体構成員の福利厚生、親睦、スポーツ、レクリエーション等個人的利益を目的とし、その活動により行政効果がない団体		補助しない。

あの人に会える「三学」

生涯学習推進大会記念講演

第4回市民三学大学講座

通算：276回



今年度の第4回は、生涯学習推進大会記念講演として立木早絵さんを講師にお迎えします。講演を行っていただくほか、ピアノによる弾き語りコンサートを行っていただきます。



トーク&コンサート♪ さらなる一歩を 踏み出そう!

【講師】^{たてき}立木 ^{さえ}早絵
(シンガーソングライター)

【日時】2月15日(土)

午後2時30分～午後4時

【場所】市民会館大ホール

保育あり(2月7日までに生涯学習課へ申し込み)

事前申し込み不要
入場自由
手話通訳あり

生涯学習推進大会スケジュール

- 第1部 午後1時～午後2時20分
式典：生涯学習奨励賞授与、感謝状贈呈ほか
実践発表：郷土博物館友の会
- 第2部 午後2時30分～午後4時
記念講演：第4回市民三学大学講座

■講師プロフィール

1992年和歌山県生まれ。2歳の時に病気が原因で失明する。
2008年から2011年まで4年連続「24時間テレビ(NTV)」内の企画に参加。
現在はシンガーソングライターとして全国各地でLiveや講演活動を行っている。
著書に「夢を見る力 自分を愛して、自分を信じて」(角川書店)
シングルに「DEAR～大切なあなたへ～」をリリース。

《問い合わせ》袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課 0438-62-3743

令和元年度 ^{さんや}山野貝塚講演会

周辺地域の遺跡から 山野貝塚の特徴を探る



称名寺貝塚出土イルカ頭蓋骨
(公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター蔵

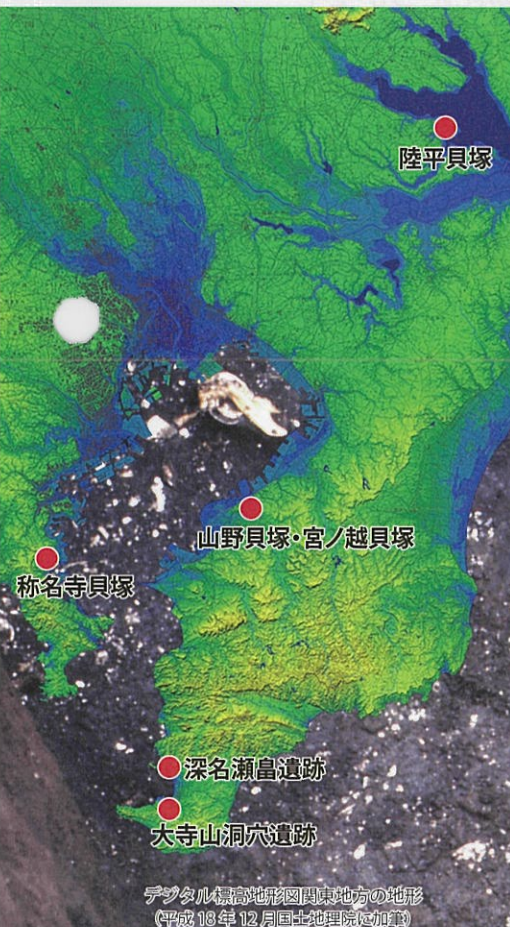
令和2年

2/22(土)

10:30~16:00 (開場・受付は10:00から)

袖ヶ浦市民会館 大ホール

(袖ヶ浦市坂戸市場1566番地 : JR内房線袖ヶ浦駅より徒歩15分)



デジタル標高地形図関東地方の地形
(平成18年12月国土地理院追加)

報告1 「^{さんや}山野貝塚の保存活用について」
袖ヶ浦市教育委員会職員

報告2 「^{みやのこし}宮ノ越貝塚 — 袖ヶ浦市を代表するもう一つの貝塚 —」
袖ヶ浦市教育委員会職員

講演1 「南房総地域の遺跡と縄文時代の儀礼について」
阿部 昭典 (千葉大学大学院人文科学研究院准教授)

講演2 「東京湾西岸の貝塚について — 神奈川県^{しょうみやうし}称名寺貝塚を中心に —」
高橋 健 (横浜ユーラシア文化館)

講演3 「霞ヶ浦周辺の貝塚について — 茨城県^{おかたいら}陸平貝塚を中心に —」
中村 哲也 (美浦村教育委員会)

- 昼休憩時の物品販売
〈焼き貝等販売・ジビエ料理販売・菓子販売〉
- 貝輪作り体験
- ロビー展示
〈山野貝塚・宮ノ越貝塚〉
- 書籍販売

事前申し込み不要

入場無料

入退場自由

[連絡先]
袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課
☎0438-62-3744

主催 袖ヶ浦市教育委員会
後援 千葉県教育委員会

文化庁補助事業「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」

背景写真: 山野貝塚遺物出土状況